非なる形勢を看取して、突如辭職を申出でたのに吃驚し、上領氏は極力慰撫大いに努めたので、上領氏は總會に臨んだのであつたが、而して、自己の責任上、この整理を斷行して後辭退せやうとの意を固め、整理案を作製し、社長藤本清兵衛氏に示した處、藤本社長は專務の整理案に同意せなかつた。上領氏は此處で是非なく斷然職を辭することゝし、社員職工の留任運動を排して遂に辭職したのである。重役は上領氏の辭職後今後整理を實行することゝし、三常務に藤本社長が毎日出勤することゝなり其第一着手として六十名の社員を一時に馘首して、經費の大節減を行ふ血祭とした。

其後社長は出勤せない

社員の大淘汰を敢行した藤本社長は其後日日出勤せず、殘り七十餘の社員は整理の方針が判明せぬので、不安の日を送つてゐる。この狀態であれば、如何に藤本社長の整理腹案が立派であつても、其實を擧げることは至難であらう。上領專務去つた大阪アルカリの今後は何人が整理の任に當るか。亦如何にすれば、この悲境から脫出することが出來るか（完）

小野造船所 回答遷延から 職工代表者憤慨

職工は示威運動

既報の通り大阪市西區市岡町小野造船所職工中立憲勞動黨に屬する百八十名より工場主小野虎助氏に對し三ケ條の要求書を提出して紛擾中であつたが十四日午前十時半會社側から小野氏外五名が職工側の代表者後田外七名と會見會社側より第一條の「解雇手當を現規定の二倍に上すこと」は成るべく諸君の意を滿たす考へであるが「三ケ月以上勤續者を常雇に引直すこと」及び「工場が如何なる狀態に立至るも解雇せざる限り現在の給を支給すること」の二ケ條に對しては回答を與へないので職工側は其ン應義切らぬことは承知出來ぬから解雇數を聲明して呉れと切込んだので午後五時に更に回答することを約して立別れたが一方百五十名程の職工は泉尾第一青年團事務所で會見の顚末を聞くべく朝から待つてゐたが前記の報を得るや各自に造船所附近に至り示威運動を開始した

日染職工の給料貰ひ 代表者を選んで

馘首者への賜與金徴收は爭議後

罷業中の日本染料職工は十五日は午前九時三十分春日出町大師堂に給料受領の件につき參集したもの約二百八十名右全部より給料受領の委任狀を徴收し工場各部より一名の代表者を選び午後二時頃職工係事務所で會社より受領した爰に決議した馘首四十二名の職工に對し贈る可き各自醵出の日給三日分は今後更に解雇者を出すかも知れず且休業の爲め給料減少し生活上に支障を來すかも計られぬので之が徴收を爭議解決後に延期する事に決定した

汽車會社も不穩 請負步增し料の新問題から

汽車製造會社では旋盤請負給料步增の件より職工側に稍不穩の狀を呈してゐるので會社は過般旋盤工場に對し請負步增料が不權衡なのでそれを平等にせんとの議が出で其の最高度二人四分を標準として平均せんとしたが職工側は二人分乃至三人分の者は從前の儘とし三人分以上の者は減じ二人分以下の者に對して增額せられたしと要求したのにし會社側は立案通り之を施行したため不穩の空氣を發いこ

會社側は切崩しに努む 日本染料の爭議愈々險惡

罷業中の日本染料會社罷業團は十五日午前九時から北區春日出大師堂に集合して全職工の給料受領委任狀を纏め各分工場より一名の代表者を選定して正午會社に出頭し給料授與を迫る事とし引續いて氣勢を擧げつゝ對策を協議中である一方會社側に於ては切崩しに百方腐心し前日出勤せる六十二名は同夜歸宅を許さず工場內に鑵詰とし會社の勸誘によつて十五日朝出勤せる三十五名を併せ業をしてゐたが同夜も會社內に居住せしめて外出させず門は警官で守ると謂ふ給料は正午から二時までにかけて代表者に支拂つてゐるが怠業間のは支拂を拒絕された罷業團は飽くまで戰ふべく既に大阪職工所職工團よりの三千圓を始め各工場よりの同情金約三千五百圓に達してゐるから經濟的基礎も出來結果は益々強

成東中學四年 同盟休校 五年生との確執から形勢惡化す

千葉縣立成東中學校では十二日講堂に於て今期卒業生送別會を開いたが、その席上四年生鈴木博光(一八)が同級生を代表しての惜別演說中、五年生に對して二三の蕪言を用ひたので五年生は大いに憤慨し、遂に兩級の確執となり紛擾を惹起したので學校當局は鈴木に對して斷然退校處分をなした、四年生は此意外なる當局の處置を憤慨し形勢益々不穩と見て四年生全部に對して十七日より一時休校を宣したので形勢愈々惡化十八日は四年生全部安東町入道山に閉ぢ籠り焚出しをなし徹宵して善後策を協議中だが事態容易ならざる模樣である（十九日午前一時千葉電話）

立退き期限が來た 芝浦製作所 淺野造船所から土地を買收 鶴見在に移轉

民間大工場として知られた芝浦製作所の現在の工場は附近一般住民の衞生上に大影響があるので警視廳から立退きを迫られ其の期間が本年五月を以て滿期なので適當な移轉地を探して居たが

▲今回神奈川縣鶴見町の淺野造船所の東北部の埋立地十二萬坪を淺野造船所から三百餘萬圓で買收することになり十七日に兩社の代表者が假買契約書に調印を了し三月早々基礎工事に着手し三ケ年の繼續事業で移轉工事に着手するさうであるが一方貨物運送の便を圖る爲に淺野造船旭硝子木工場物の各工場に近く敷設される內外會社と協議して川崎驛まで二哩間鐵道線路を敷設する計畫もあること

下關でも 營業稅全廢の大示威運動

下關商工團體は十五日を期し營業稅全廢の大示威運動をなす事となり會議所其他主となりて準備をなし十五日午後二時高等小學校運動場に勢揃をなし夫れより市內各所を順次に巡り稅務署前にて廢稅の歌を高唱し四時散會せるが參加者二千餘名に達した（下關電報）